

Asahi Support System for Students 旭3S通信

平成25年 8月14日発行
編集・発行 旭・学び助成金：旭3S
事務局 〒289-2604 旭市高生3610
旭市立嚶鳴小学校内
Tel 0479-55-2161

新審査委員長就任挨拶

箸よく盤水を回す

～ 審査委員長に就任して ～ 審査委員長 八木 雅之



旭3Sの生みの親ともいえる上杉先生の後任を仰せつかりました。かつて先生と同じ職場に勤務したこと、私が地元の出身ということ等が背景にあり、お引き受けせざるを得ませんでした。責任の重さを痛感しております。3Sの精神に則り、誠心誠意務めてまいりたいと思います。

ところで冒頭の言葉は、「トイレ掃除で心を磨く」運動を提唱された鎌山秀三郎氏（イエローハットの創設者で現会長）の言ですが、「箸一本でも根気強く回し続ければ盥（たらい）の水でも大きな渦となって回るようになる」という意味です。旭の子どもたちが取り組んでいる3S運動は産声を上げてからまだ6年、渦には至っていません。しかしながら多くの市民の皆様から寄せられた励ましの声と浄財の助けを得て、少しずつですが水は確実に動き始めています。私たち大人が子どもたちの活動に思いを寄せ、認め、励ましていくことが将来の「ふるさと旭」の発展に不可欠のことと信じます。

本活動を通して、子どもたちは協力してことに臨む大切さ、人に喜ばれる嬉しさ、視点を変えてみる面白さ等々に気づき始めています。子どもたちを応援する喜びを皆さんと共有したいと思うこの頃です。

平成25年度第1回審査委員会の結果

6月15日（土）、今回応募のあった2件について厳正な審査を行いました。結果、2件とも助成することと決定しました。公開審査委員会では、熱い議論を応募校の先生方や児童生徒の皆さんに参観していただきました。

応募内容の詳細は後述しますが、子どもたちは審査委員からの鋭い質問に対し、自分たちのプロジェクトについて歯切れの良い回答ができ、プロジェクトに対する意気込みを感じることができました。



公開審査委員会の様子

＊＊助成対象となったプロジェクト＊＊

1 旭市立嚶鳴小学校栽培委員会

○プロジェクト名 花いっぱい 笑顔いっぱい 栽培活動

○活動の概要 これまで校内の環境美化を主な活動にしてきた栽培委員会が、校外に出て学区の美化活動を計画しました。その際、学区の海上中学校ですでに実践されている「クリーン&グリーン作戦」を参考にして、また海上中学校の生徒の支援指導を受けながら活動するものです。小中連携の活動としてとても意義のあることだと考えています。

自分たちで育てた花は、学区の保育園や幼稚園、駅、学童保育の教室前等に設置し、地域の皆さんに喜んでいただき、笑顔をいっぱいにさせたいと考えました。

花を届けるときには、感謝の気持ちも一緒に伝えることはもちろんのこと、後で手紙も書き、皆さんから感想をいただくよう

にしました。感想やプランターを回収に行ったときの様子等から、花を見ていただいた地域の方の気持ちを知ることは、活動を振り返る中でとても大切になります。

花を栽培し、それらを届け、地域の方と交流を図るという貴重な体験をすることにより、植物に親しみを覚え、さらに人の役に立つことができたという自信ももてることができるのではないかと思います。この活動で身に付けた力をこれからの学校生活の中で生かしていきたいと考えています。

助成額 32,552円



* 子ども達の活動がより有意義なものとなるよう審査委員会のアドバイスを付して助成金決定通知書と助成金を手渡してきました。

審査委員からの意見

- 1 初めての応募を嬉しく思います。応募しようとする意欲が素晴らしい。
- 2 「やってみてわかる」ことがたくさんあると思います。まずは取り組んでみて、いろいろな問題に気づき、解決するためお互いに意見を述べあったり、実行してみたりしてください。その中で、皆さんが成長することと思います。
- 3 中学校と協力していくことが特に素晴らしい点です。できるならば理科の授業と結びつけていくとさらに良くなるでしょう。例えば肥料を市販の物ではなく、自分たちで残菜を利用して作ってみるなどはどうでしょう。

2 旭市立第二中学校ボランティア部

○プロジェクト名 旭学 ～伝えたい、私たちの旭～

○活動の概要 旭の歴史を市民の皆さんにより知ってもらうため、戦争や伝統行事、偉人など様々な旭にまつわることを調査し冊子にまとめます。その後、12月の旭市復興支援コンサート（地元の小中学生が主催）「Love & Dreamコンサート」会場で発表したり公共施設に冊子を置かせていただいたりして、市民の皆さんに広く知っていただきます。

3. 11の震災を機に改めて自分たちの住んでいる旭市の歴史や伝統について学び、広く伝えていきたいと考えました。復興への活気づけの一助になればと考えています。助成額 52,000円



審査委員からの意見

- 1 貴部が新しい視点に立ってプロジェクトを立ち上げたことに敬意を表します。とりわけ、ふるさと旭を理解する試みは多くの市民の方々も共感することと思います。道は甘くはありませんが試みる価値は非常に高いものがあります。頑張ってください。
- 2 素晴らしい企画だと感心しました。注意することとして事前と事後の話し合いを充実させてください。
- 3 結果が冊子で報告されることになっていますが、インターネット等に公開すればより多くの人が見ることができます。検討してみてください。

□25年度委員の紹介

☆運営委員

委員長 森 正志 (旭ライオンズクラブ)
 副委員長 篠崎 一海 (旭ロータリークラブ)
 " 宮内 一直 (旭青年会議所)
 委員 八木 雅之 (旭市教育委員長職務代理者)
 " 林 秋生 (旭ライオンズクラブ)
 " 高橋 功一 (旭ライオンズクラブ)
 " 飯田 耕司 (旭ロータリークラブ)
 " 横田 真海 (旭青年会議所)
 " 松本 勝 (旭市PTA連絡協議会顧問)
 " 菅谷 充雅 (旭市教育委員会)

☆審査委員

委員長 八木 雅之 (旭市教育委員長職務代理者)
 副委員長 中村 亮太 (旭ロータリークラブ)
 委員 赤座 修 (旭ライオンズクラブ)
 " 天野 一哉 (ジャーナリスト・星槎大学准教授)
 " 小林 若菜 (千葉大学教育学部)

本年度の活動報告会は、
平成26年3月8日(土)午後
 東総文化会館(旭市)で開催します。